

2025年度近江兄弟社中学校 学校評価シート

本年度の重点目標(概要)

2025年はヴォーリズ来日120周年記念の年でした。この節目の年に市民の方々を中心に、様々なイベントが企画され、ヴォーリズの偉業を振り返る機会が持たれました。学園においても創立者の理念を改めて確認する意義ある年となりました。少子化、経済の停滞等、本校を取り巻く状況は大変厳しい状況です。しかし、本校教育理念を大切に、さらなる教育の充実を図るとともに、本校の魅力の発信に積極的に取り組んだ年度でした。また、2025年度は中学・高等学校で授業時間を45分とする時程変更を行いました。この改革は、主体的な学びの推進、放課後時間の活用、家庭学習の習慣化等、学習や学校生活における生徒の「最善の利益の実現」を図る教育改革です。

領域	番号	設 問	自己評価	総合評価	備考
1 学校経営	1	学校の教育方針や教育目標について理解が得られるような取り組みをしている。	A	A	教職員・保護者
	2	学校の教育方針や教育目標が実践できるよう、教育活動に取り組んでいる。	A	A	教職員・保護者
2 学習指導	3	良好な学習環境維持につとめている。	A	A	教職員・保護者・生徒
	4	PCやプロジェクターやICTを利用してわかりやすく資料等の提示をしている。	A	A	教職員・保護者・生徒
3 生活指導	5	基本的な生活習慣の確立や挨拶などの指導を自ら進んで実践している。	A	A	教職員・保護者・生徒
	6	生徒の規範意識を育む指導を行っている。	A	A	教職員・保護者・生徒
	7	生徒の問題行動や生徒の小さな変化の早期発見・早期対応をしている。	A	A	教職員・保護者・生徒
4 進路指導	8	生徒個々に応じた進路選択ができるような進路指導につとめている。	A	A	教職員・保護者・生徒
	9	面談等で生徒の学力分析を行い、面談などで進路に向けた指導を行っている。	A	A	教職員・保護者・生徒
5 特別活動	10	生徒会活動を通じて自主自律の精神を育成すると共に生徒の自覚や連帯感を育てている。	A	A	教職員・保護者・生徒
	11	生徒会行事の意味やねらいを理解し生徒の意識高揚につとめている。	A	A	教職員・保護者・生徒
6 人権教育	12	いのちを大切に教育、豊かな心や人権が尊重されるクラスづくりや学校づくりにつとめている。	A	A	教職員・保護者・生徒
	13	いじめや暴力のない集団づくり、学校づくりにつとめている。	A	A	教職員・保護者・生徒
7 環境教育	14	清潔な環境づくりのため清掃活動につとめ、美化意識を向上するため努力している。	A	A	教職員・保護者・生徒
	15	生徒に環境について考えさせたり、リサイクル運動などの指導を行っている。	A	A	教職員・保護者・生徒
8 その他 学校の取り組み	16	教育活動をホームページや学校だより・クラスだより等を通してわかりやすく伝えている。	A	A	教職員・保護者
	17	保護者からの連絡や相談などに丁寧に対応するようつとめている。	A	A	教職員・保護者
	18	PTA活動等に積極的に取り組み、保護者が授業・行事などに参加できるようつとめている。	A	A	教職員・保護者

- (注) ・評価 2月 学校の教育目標にもとづいた評価項目の公表
3月 評価の実施(2月までの教育活動に対する評価)
9月 総合評価の公表(年間の教育活動ABCDの4段階評価で示す。)
・評価者は教職員、生徒、保護者、その他学校関係者による。(項目によりすべての評価者によらない場合がある。)
・ABCDの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。